

第1回セミナー かたってまちづくり みよう!

@熊本日日新聞社・本館2階ホール

5月から隔週掲載でスタートした「まちづくり探検隊」。熊本市のまちづくりや地域活動を知ってもらうために、探検隊メンバーが毎週さまざまな活動や取り組みを体験・取材し、紹介しています。さらに「まちづくり探検隊」では、紙面をきっかけに地域活動への興味を持った方に実際の行動に移してもらおうとセミナーも開催。その第1回の様子を紹介します。

20代から80代まで、
幅広い世代が集い、
子どもたちを守るために
話し合いました!



「子どもの安全」という関心の高いテーマだけに参加者の意識も高く、活発に意見が交わされました



どう守る?? 子どもの安全

7 月8日、熊本日日新聞社・本館2階ホールで開催したセミナー「かたってみよう! まちづくり」。事前に申し込みいただいた約30人に加え、地域づくりについて研究している熊本法学部・伊藤ゼミの学生8人も参加してくれました。

この日のテーマは、「どう守る? 子どもの安全」。近年、子どもが犠牲となる悲しい事件が頻発しています。そうした子どもを取り巻く環境の変化や危険に親はどう対処すればいいのでしょうか。

子どもの安全、親だけでは限界
「地域のか」見守りに活用を!

セミナーの講師に、地域の防災・

防犯などに詳しい水野直樹さん(スタディライフ熊本理事)を迎え、子どもが巻き込まれる最近の事件の傾向などについて話を聞いた後、5〜6人のグループに分かれてワークショップを行いました。

ワークショップには、セミナーを主催した熊本市の職員も参加。「子どもを犯罪から守るために親にできること」について皆で意見やアイデアを出し合った一方で、「親だけでは見守ることができない時間がある」という課題も見つかりました。それに対処する一つの手段として挙げたのが、「地域ぐるみでの見守り」。昔ながらの、向こう三軒両隣の精神や、熊本地震で重要性を再認識した、地域の絆を、子どもの安全を守るために生かそうというものです。

ワークショップには、セミナーを主催した熊本市の職員も参加。「子どもを犯罪から守るために親にできること」について皆で意見やアイデアを出し合った一方で、「親だけでは見守ることができない時間がある」という課題も見つかりました。それに対処する一つの手段として挙げたのが、「地域ぐるみでの見守り」。昔ながらの、向こう三軒両隣の精神や、熊本地震で重要性を再認識した、地域の絆を、子どもの安全を守るために生かそうというものです。

ワークショップには、セミナーを主催した熊本市の職員も参加。「子どもを犯罪から守るために親にできること」について皆で意見やアイデアを出し合った一方で、「親だけでは見守ることができない時間がある」という課題も見つかりました。それに対処する一つの手段として挙げたのが、「地域ぐるみでの見守り」。昔ながらの、向こう三軒両隣の精神や、熊本地震で重要性を再認識した、地域の絆を、子どもの安全を守るために生かそうというものです。

セミナーやワークショップで得た情報や知識を活用して、参加者は今後どのように地域と関わっていくのでしょうか。「まちづくり探検隊」では、皆さんの「これから」にも注目していきます!



この日の講師と、ワークショップのファシリテーターを務めた水野直樹さん

子どもの安全、命は誰にとっても“自分ごと”



今回のセミナーは、地域と家庭が共に大切にしたいものを取り上げることで、**お互いのか**が一つになるのではとの思いから、「**子どもの命**」をテーマにしました。ワークショップでは、子どもの安全に関する課題を「自分ごと」として発言してくれる参加者が多く、何かを「してもらう」でなく「自ら動く(行動する)」という思いを感じました。

講師・ファシリテーター 水野直樹さん (スタディライフ熊本理事)

参加者間で共通認識が持てたことが収穫



わが子だけでなく、地域の子どもたちをどう守るかについて、議論は熱く盛り上がりました。私にとっても、「個人で子どもの安全を守るには限界がある」「(親だけでなく)地域のかが必要だ」と感じた時間でした。参加者全員で、「子どもを守るには、地域全体で取り組まないといけない時代」という共通認識を持てたのではないのでしょうか。

司会 荒木直美さん (タレント、まちづくりコーディネーター)



時に頼りになるのが“地域のチカラ”!

子どもが巻き込まれる犯罪の傾向にも変化 情報・通信技術を活用した情報の共有も

セミナー開始直後のミニ講話では、講師を務める水野さんが熊本県警調べの声掛け事案に関するデータや、熊本市で実際に起きている事例を紹介。

その上で、「昔と今では犯罪が起こる場所や傾向などが変わってきている。例えば、マンションなどの敷地内は安全と思いがちですが、実は声掛け事案の約半数は集合住宅の駐車場や駐輪場で起きています」と説明しました。

今後は身近な通信手段であるスマホや携帯電話をはじめ、ICT(情報・通信技術)なども活用しながら、地域の中で不審者や犯罪に関する情報を共有していくことが、何より大切だと強調しました。

話し合っ
て情報
を共有
すること
で、行
動しや
すくな
ります
よ!



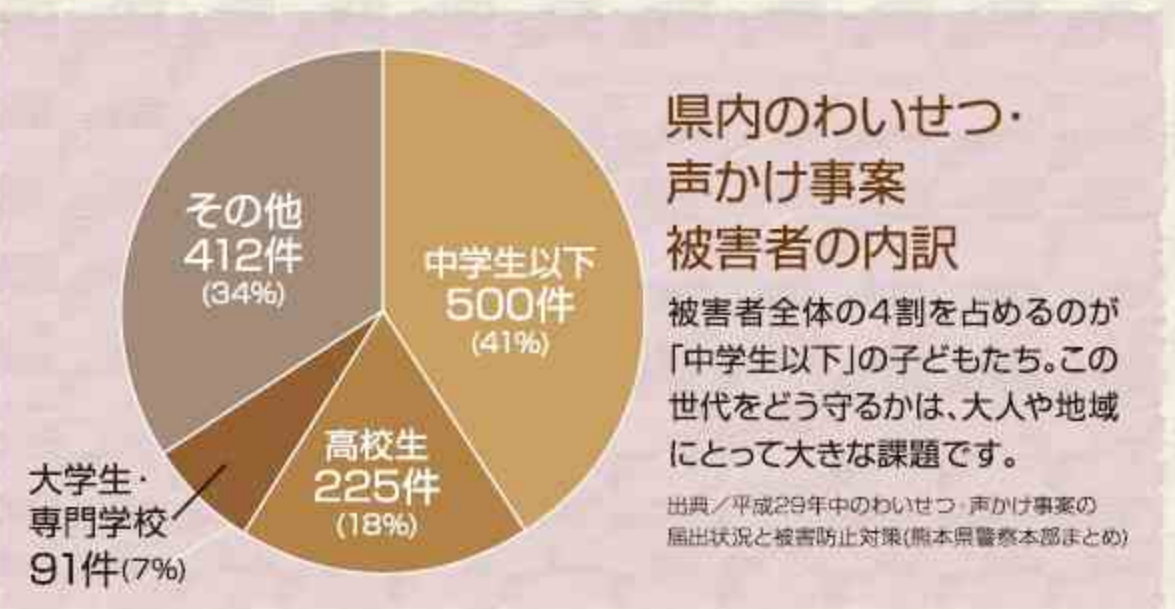
子どもは“地域の宝”。
皆で成長を見守っていかなくや!



▶水野さんの話に真剣に聞き入る参加者



▲データや新聞記事などを交えて講演する水野さん



ワークショップを通じて見えてきた “親だけでは見守れない時間帯”

5~6人1組に分かれて行ったワークショップには、地域とのつながりが深い熊本市内の各まちづくりセンターの地域担当職員らも同席。参加者は水野さんから出されたお題「子どもたちを守るために(親として、大人として)どんなことをしているか?」について、それぞれが自分の実践していることを発表しました。

また、自分と子どもの“1日の予定”を書き出して、親だけでは見守れない時間帯を洗い出し、その時間にどうすれば見守りができるかについてもアイデアを出し合いました。



▲参加した大学生たちのフレッシュな意見は、どのテーブルでも注目的!



▲各テーブルでは自己紹介も兼ねて、それぞれに自分の意見を出し合っています

まちづくり探検隊・読者アンケート

「まちづくり探検隊」を読んで感じた、まちづくりや地域活動への興味・関心や、あなたが参加したい活動などを教えてください!

- あなたは普段、まちづくりや地域活動について関心がありますか? (○は1つだけ)
1. とても関心がある 2. やや関心がある 3. あまり関心がない 4. まったく関心がない
- (①で1または2と答えた方) どんな活動に関心がありますか? (○はいくつでも)
1. 清掃 2. まちなみ保全 3. 子育て 4. 青少年育成 5. 教育 6. 文化
7. スポーツ 8. 防犯 9. 防災 10. 高齢者福祉 11. 健康増進 12. 環境美化
13. 緑化 14. 観光 15. まちおこし 16. その他()
- まちづくりや地域活動に参加したことがある。または参加していますか?
1. 参加したことがある(している) 2. 参加したことがない
- (③で参加したことがある(している)と答えた方) それはどんな活動ですか?
- (③で参加したことがないと答えた方) その理由を教えてください。
- 将来、まちづくりや地域活動に参加したいですか?
(現在参加している方は今後も参加したいですか?) (○は1つだけ)
1. 参加したい 2. どちらとも言えない 3. 参加したくない
- (⑥で参加したいと答えた方) それはどんな活動ですか? (○はいくつでも)
1. 清掃 2. まちなみ保全 3. 子育て 4. 青少年育成 5. 教育 6. 文化
7. スポーツ 8. 防犯 9. 防災 10. 高齢者福祉 11. 健康増進 12. 環境美化
13. 緑化 14. 観光 15. まちおこし 16. その他()
- 「くまにちすばいず」に隔週で掲載している「まちづくり探検隊」を読んだことがありますか?
1. 読んだことがある 2. 読んだことがない
- (⑧で読んだことがあると答えた方) 印象に残っている特集はありますか? (○はいくつでも)
1. 「江津湖の自然と水を守る会」の活動体験 2. 「池上校区ウォーターボーイズ」の取材
3. こども会の活動の取材 4. 消防団の活動体験
5. 校区自治協議会・町内自治会の活動の取材 6. 校区防犯パトロールの活動体験
7. 「川尻精霊流し」の活動の取材 8. どれでもない

- (③で読んだことがあると答えた方) 「まちづくり探検隊」の紙面を
読む前と後を比べてみて、まちづくりや地域活動に対するあなた自身の意識や行動に、
次に挙げるような変化はありましたか? (○はいくつでも)
<地域活動に参加したことがあった方>
1. さらに興味・関心が高まった 2. さらに参加意欲が高まった
3. 参加する活動の数(または頻度)が増えた
4. 変化なし 5. その他()
- <地域活動に参加したことがなかった方>
6. 興味・関心が高まった 7. 参加意欲が高まった 8. 変化なし 9. その他()
- あなたの年代と性別を教えてください。
<年代>20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
<性別>男性 女性

アンケートに応募いただいた方の中から抽選で30名に粗品を進呈

■応募方法
アンケート項目の回答のほか、氏名、郵便番号、住所、年齢、電話番号、メールアドレスをご記入の上、下記の要項でお送りください。

■対象
熊本市に在住または通勤、通学する20歳以上の男女

はがき 〒860-8506 ※住所は不要です
熊本日日新聞社 業務推進局営業企画部
「かたってみようまちづくり」セミナー係
※個人情報連絡のみに使用します

FAX 096(372)8711

すばいずHP応募フォーム
右記のQRコードから飛べます

締め切り 8/31(金)



参加してヨカッタ!

セミナー参加者に、ワークショップの感想や、今後どう役立てるかなどを聞きました。

危機感の薄れや「慣れ」は禁物!

中1と小4の子どもがいて、しよっちゅう学校から不審者情報がメールで届きます。それに慣れてしまって危機感が薄れていましたが、ワークショップでの意見交換を通じて、子どもの見守りも昔とはやり方に違いがあることを知り、気持ちが引き締まりました。

小林律子さん



地域での見守り、保護者の理解が不可欠



校区で子どもの見守り活動に参加していますが、新しい道やマンションなどが増えたことで地域の地理が変わり、新たな危険箇所の把握が難しくなっています。そうした場所の把握や子どもたちと顔見知りになっておくためにも、保護者の協力と理解が不可欠だと感じました。

松倉麻美さん

共有した情報を子どもや周囲にも伝えたい

私たちの住む地域でも、頻繁に不審者からの声掛けなどが発生しているので不安です。ただ、これまでは具体的にどうすれば子どもの安全が守れるのかわかりませんでした。ワークショップでさまざまな情報を共有したことで、子どもや周囲にも「伝える」ことができます。

田上英樹さん・香織さん夫妻



今回は、熊本大法学部・伊藤ゼミの学生たちも参加し、ワークショップを盛り上げてくれました!

- ◆ゼミで地域づくりについて学んでいますが、今日は現場の声を聞くことができ、とても新鮮でした / 池崎日南子さん
- ◆小学校によって防犯への取り組みや設備に差があることを知りました。今後の課題として考えていきます / 上原佑野さん
- ◆大学の講義だけでは得られない視点を聞けただけでなく、皆さんと意見交換ができるのも魅力。次回も参加します / 江村和大人
- ◆幅広い世代の皆さんから話が聞けました。住んでいる地域で、自分にできることを考えていきたいです / 木下秀誠さん
- ◆普段は話をする機会が少ない異世代の方たちと交流ができて、地域活動に関心が持てるようになりました / 豊福美希さん
- ◆地域に関する前向きな話だけでなく、行事等が年々減少しているという現実を知って驚きました / 濱田ありささん
- ◆現在、子育て中のお母さんの生の声を聞くことができ、新聞等で見るとリアルに、子どもの安全を考える機会になりました / 平田加奈さん
- ◆あいさつを交わすことが不審者に犯罪を起こさせない効果があると初めて知りました。私も積極的にあいさつしたいと思います! / 室原彩子さん



親だけでは守れない

各テーブルで“キーワード”を決め 子どもを守るための具体策を列挙

テーブル間の席替えをして行ったワークショップの後半戦では、各テーブルで子どもを守る上で必要なキーワードを決め、それに沿った具体策を挙げていきました。キーワードを「情報共有」としたテーブルでは、「子どもにスマホを持たせる」「家庭、地域、警察で不審者情報などを共有できる仕組みをつくる」「地域行事に参加し、地域の人に子どもの顔を覚えてもらう」などのアイデアが。

その後、各テーブルの代表者がキーワードや具体策を発表。水野さんによるまとめを行って終了しました。参加者へのアンケートでも、満足度が高かった今回のセミナー。ぜひ次回は、皆さんも参加してみませんか!



発表に向けて話し合いを進める各テーブルを回り、アドバイスをする水野さんと司会の荒木さん



班ごとの発表で挙げた、子どもの見守りに必要なキーワード

どう守る? 子どもの安全 まとめ

積極的なあいさつを!

あいさつは不審者に対する「監視」の意味もあります。目を見てあいさつされると、不審者は「顔を認識された」と思います。登下校時の子どもだけでなく、大人同士が積極的にあいさつを交わしましょう!



地域の“有名人”に!

特に子どもの多い校区などでは、地域の人に子どもの顔を覚えてもらうのも大変。そこで、親が地域の有名人になれば、「あ〜、〇〇さん家の子」と認識され、登下校中なども意識して見られます。それには親が地域のために何ができるのかを考え、行動することが大切です。

地域の整理・整頓・清潔・清掃

不審者が嫌うのは「地域の団結」。それは、町内の掲示板やごみステーションにも現れます。「古い掲示物がそのままになっていないか?」「ごみステーションが散らかっていないか?」を今一度確認してみましょう。



もっと知りたい! 熊本市
KUMAMOTO CITY
まちづくり探検隊

第2回 かたってみよう! まちづくり
セミナー開催
参加者募集!

テーマ

考えよう! 身近な防災 Part.1

~ハザードマップで災害を“見える化”~

すばいすでは、熊本市の地域活動を知ってもらう取り組み「まちづくり探検隊」の一環で、セミナー「かたってみよう! まちづくり」を開催しています。9月9日から始まるセミナーは、「考えよう! 身近な防災」をテーマにした3回シリーズ。熊本地震以降、市民の防災意識は高まっていますが、それを具体的な備えや行動に結び付けるにはどうすればいいの。事例紹介やフィールドワークを通じて、一緒に学んでいきましょう!

講師・ファシリテーター **水野 直樹さん**

一般社団法人スタディライフ熊本理事。FM791のパーソナリティーとして活躍する傍ら、地域活動やまちづくりに関する講演活動も。自身も防災士の資格を取得。

司会 **荒木 直美さん**

熊本朝日放送「くまパワ」などに出演。漫画家・桜田幸子さんと「こそだてがかり」で子育て中の親への講演なども行う。まちづくりコーディネーターとしても活躍。

セミナーの内容

第1部 地域での防災の取り組み ~事例発表~

事例① 「小学校PTA主催の防災キャンプ開催」 託麻原小PTA会長 漆野和也さん
 事例② 「地域防災の要・消防団の活動について」 慶徳校区消防団 山内要さん

フリーディスカッション 事例発表の2人に講師の水野直樹さんをお交え、熊本地震後の市民の防災意識の変化などについて話し合います

第2部 ハザードマップの作り方を学ぼう!

地域防災に欠かせないハザードマップの重要性や、その作り方についてワークショップ形式で説明します

次回以降の内容

Part.2 12月1日(土)[予定] 「実践編: 地域を歩いてハザードマップを作ってみよう!」
 Part.3 1月20日(日)[予定] 「企画編: ハザードマップの活用を考えよう!」
※Part.2, 3の日程については変更になる可能性もあります

募集要項

- 日時/9月9日(日) 10時~12時(9時30分受付開始)
- 会場/熊本日日新聞社(熊本市中心区世安町172)
- 定員/50名(親子での参加も可、申し込み多数の場合は抽選)
- ※参加者には参加証を発送します
- 対象/①熊本市に在住または通勤、通学する20歳以上の男女で、自分の暮らす身近な地域の防災に関心のある方
- ②できるだけ3回とも参加できる方

申し込み方法 / ●氏名 ●郵便番号 ●住所 ●年齢 ●電話番号 ●メールアドレス

●Part2, 3の参加可否を記入の上、下記の要項で、すばいす編集部までお申し込みください。

はがき

〒860-8506 ※住所は不要です

熊本日日新聞社 業務推進局営業企画部

「かたってみようまちづくり」セミナー係

※個人情報は連絡のみに使用します

FAX

096(372)8711

すばいすHP応募フォーム

右記のQRコードから飛べます

お問い合わせ ☎096(361)3348(平日9:30~17:30) 主催 熊本市、熊本日日新聞社



私たちが まちづくり 探検隊です!

すばいすの紙面やHPを通じて、まちづくりや地域活動に興味のある人を募集した「まちづくり探検隊」。すでにメンバーの皆さんには、さまざまな活動を体験してもらい、紙面でも紹介しています。今回は、メンバー全員が勢ぞろい! これからも地域に関わる「あんなこと」や「こんなこと」を、読者代表として体験&リポートしていきますので、ご期待ください。

「まちづくり探検隊」のメンバーは、全部で30人。20代の学生から60代まで、幅広い世代が集まりました。それぞれが抱えている、まちづくりや地域活動への思いや意気込みを、今後の紙面で思う存分発揮してもらいます!

地域のこともっと知りたくて応募しました!

子どもと一緒にできる活動に参加してみたいです

県外から移り住んで来たので、熊本市のことをもっと知りたい

若い世代の視点からまちづくりの役に立てばうれしいです

久保恵美さん 谷口祐三子さん 田中大善さん 森崎友裕さん フェレロ恵美さん 安田朋子さん 阿南志寿さん 永田文許さん 宗像唯さん 末藤 藍さん 金子千里さん 西島明美さん

どんな人たちが地域を支えているのかに興味があります

まだまだ元気なので、地域のためにできることを探しています

子どもたちも住みやすいまちになるように自分も学んで行動したい!

船本里美さん 石井友美さん 高見睦代さん 松浦かおりさん 緒方幸江さん 小山知枝さん 松本和圭那さん 松本亜沙美さん 濱崎 陽さん 野口敬江さん 山田虹歩さん 池田誠吾さん 池田史恵さん

地域活動に興味はあるので、どうすれば参加できるか教えてほしい

小泉幸子さん 水本佳奈子さん 藤山美月さん 徳永裕介さん 野村由佳さん



メンバーの皆さんには、計4回の説明会を実施し、探検隊の活動内容や今後の活動予定などを説明しました。また、一人ずつ探検隊としての抱負を述べたほか、質疑応答では「地域では、どんな活動をしているの?」「子どもや子育てに関する活動に参加してみたい」などの質問や要望が寄せられました。

まちづくり探検隊では、これからもすばいす読者の皆さんに、
まちづくりや地域活動の楽しさを伝えていきます!